

## 中国特許の最新動向（その2）

アジア特許情報研究会：伊藤徹男

## 1. はじめに

前回は出願人の動向を中心に中国特許を紹介しましたが<sup>1)</sup>、今回はもう少しマクロな観点から中国特許および実用新案の最新動向を紹介したいと思います。

中国に限らず、東アジアやアセアンの知財情報は2~3年も経つと陳腐化して使い物にならないものもあります。

## 2. 中国専利出願状況

6月には中国特許庁(CNIPA)から2023年の出願データも公開されましたので<sup>2)</sup>改めて2023年までの特許、実用新案、意匠の出願推移をグラフで紹介しました。

2019年の特許出願の落ち込み、実用新案の伸び悩みは、いわゆるコピー出願など非正常出願取締りによる影響と思われますが<sup>3)</sup>、その後は、特に実用新案については持ち直している状況です（図1）。

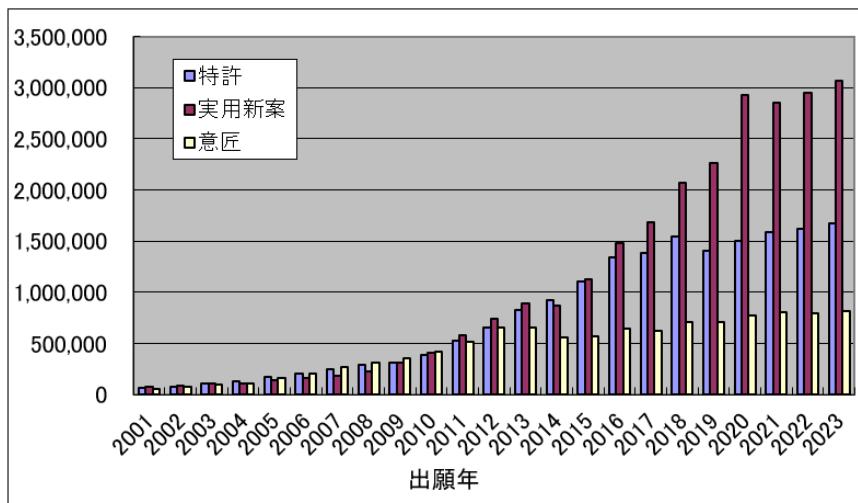
図1. 中国専利出願推移<sup>2)</sup>

図1で紹介しているCNIPAの出願数値は私たちが日常使用しているデータベースの値より若干多くなっています。特許の場合には、CNIPAに出願され、公開される前に「取下げ」られたものや方式審査などに対するOA未対応で「見做取下げ」となったものはデータベースには収録されません（これら未公開特許は約1割存在します）。

データベースからも出願日基準や公開日基準で出願推移などを示すことができますが、上記のような公開前情報は抽出できません。

また、CNIPA の出願統計データは出願受理されたものですので何年たっても数値が変わることはありませんが、データベースから得られる出願日基準のデータはデータが更新される度に積み上がって変化します。特に直近の情報は数値が低く、出願が落ち込んでいるようなグラフとなります。

もちろん、特許が公開された後に「取下げ」や「見做取下げ」などがあればこれらの情報は「法律状態情報」としてデータベースに収録されて確認することが可能です。

### 3. 中国特許・実用新案の生死情報

中国知識産権出版社(IPPH)が運営する CNIPR やその他一部の商用データベースでは出願公開された特許や実用新案などの生死情報を確認することができます。図2に「公開特許」と、それが取下げ、見做取下げ、拒絶などで失効していないもの（審査中のものも含む）を「有効公開（特許）」として、さらに、審査を経て登録特許となり（年金支払い前の登録特許も含む）、年金未納や放棄、20 年の有効期限を超過したものなど無効となったものを除いた登録特許を「有効登録（特許）」として、その推移を示しました（2024 年 10 月 19 日現在）。

先にも触れたように図2では出願年基準のため 2022 年以降のデータは減少しているように見えます。登録特許数も審査の関係から直近数年は公開特許数などと共に今後積み上がるものと思います。

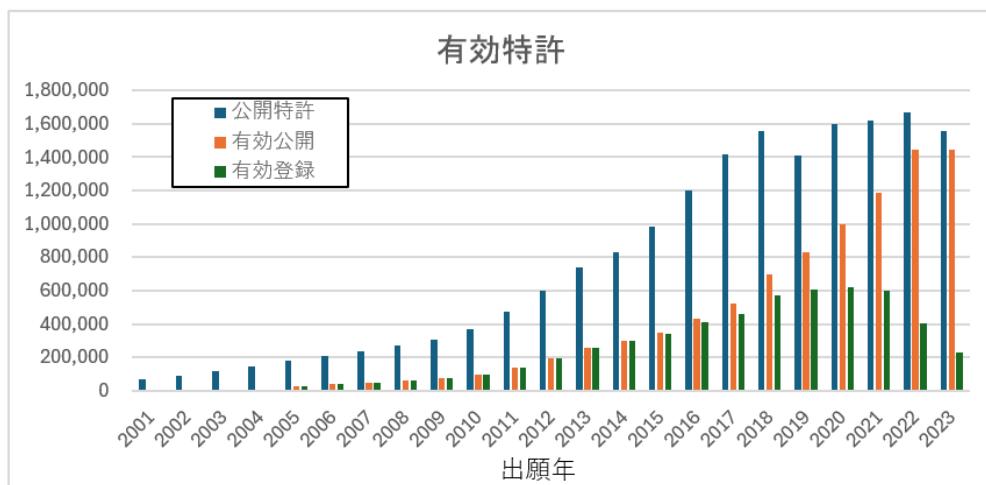


図2. 有効特許

公開となった特許の現時点における無効理由を表1に示しました。

見做取下げの多いことに加え、拒絶も多いことが意外です。2021 年以降の拒絶率は審査中などにより低い値となっています。

拒絶特許の大半（95%以上）は内国出願人です。2022 年、2023 年でも拒絶がそこそ

こ存在する、ということは内国出願の 70%が早期公開（特許）をしているせいかもしれません。出願と同時に審査請求をしていても公開にならないと審査が始まりませんが、早期公開により若干、審査が早くなっているものと思います。

また、表1では、取下げ（見做取下げを含まない）のうち2019年出願分の数値が異常に低いものとなっています。非正常出願の取締りが影響しているのでしょうか。

表1. 特許の無効理由とその存在数

出願年	出願数	無効	見做放棄	見做取下	出願取下	拒絶	無効率	拒絶率
2014	833,889	533,277	3,800	242,343	12,101	159,925	64%	30%
2015	985,497	638,602	3,481	266,584	25,660	250,168	65%	39%
2016	1,198,245	768,062	3,962	267,442	68,166	348,972	64%	45%
2017	1,414,458	893,880	4,951	263,214	175,813	397,767	63%	44%
2018	1,555,807	856,306	4,903	192,067	219,515	396,131	55%	46%
2019	1,410,479	577,030	3,840	113,773	98,775	330,412	41%	57%
2020	1,599,099	597,722	3,028	78,862	189,731	306,405	37%	51%
2021	1,621,536	437,208	1,851	47,434	145,949	232,191	27%	53%
2022	1,670,216	225,615	481	23,546	114,787	85,715	14%	38%
2023	1,558,519	110,428	54	8,208	86,410	15,499	7%	14%

次いで、実用新案についても同様に見てみましょう。

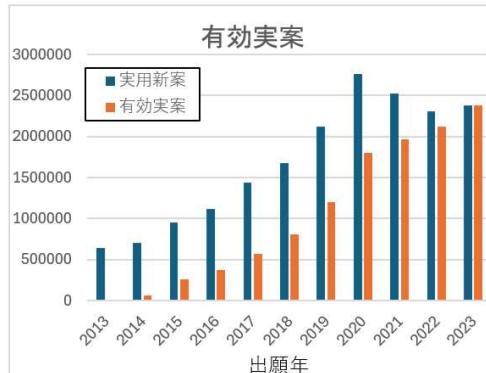


図3. 有効実案

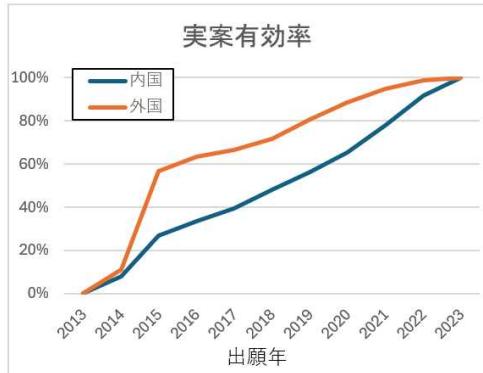


図4. 実案有効率

表2. 実用新案の無効理由とその存在数

出願年	出願数	内国出願	外国出願	無効	部分無効	専利権終了	重複放棄	放棄	無効率	専利権終了	外国出願人
2014	703,792	696,445	7,347	647,589	622	599,274	36,983	620	92%	93%	1.0%
2015	947,745	940,116	7,629	691,394	741	653,558	36,471	875	73%	95%	0.8%
2016	1,116,847	1,109,397	7,450	742,092	830	701,125	39,321	1,023	66%	94%	0.7%
2017	1,437,455	1,429,932	7,523	869,014	860	846,404	20,481	1,370	60%	97%	0.5%
2018	1,672,247	1,663,972	8,275	864,062	736	845,993	17,697	1,639	52%	98%	0.5%
2019	2,122,879	2,114,949	7,930	923,960	728	908,793	13,532	2,172	44%	98%	0.4%
2020	2,760,239	2,753,130	7,109	960,178	604	951,556	5,713	3,013	35%	99%	0.3%
2021	2,519,793	2,512,959	6,834	553,627	485	548,143	2,617	2,811	22%	99%	0.3%
2022	2,308,209	2,302,104	6,105	192,894	176	190,351	382	2,097	8%	99%	0.3%
2023	2,380,083	2,374,722	5,361	1,980	5	0	13	920	0%	0%	0.2%

実用新案出願の 99%以上は内国出願人です。無効理由のほとんどは「専利権終了」ですがこれはほぼ年金未納によるものです。出願から 5 年以上経過すると内国出願人の実用新案維持率は 50%未満となることは 10 年以前の状況と変わりないようです。

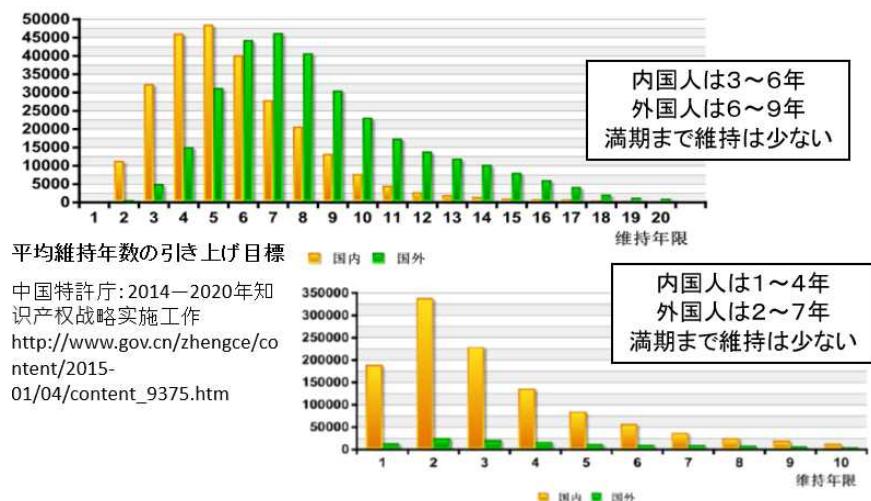


図 5. 中国特許庁 CNIPA(当時は SIPO)発行の専利統計簡報(2013 年)

CNIPA(SIPO)による専利統計簡報は、内国出願人・外国出願人のランキングなどを掲載していましたが、外国出願人の名寄せ、表記が不充分であることなどを指摘させていただきましたが (図 6)、2014 年以降は発行されなくなりました。

わかりやすい中国特許情報の紹介であったことでもあり残念です。

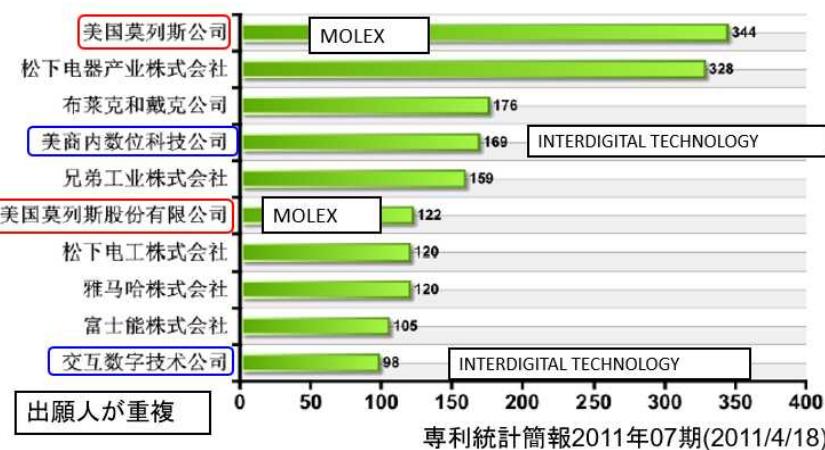


図 6. 専利統計簡報(2011 年)の外国出願人 TOP 10

表 2 の「重複放棄」は、特許と実用新案の同日出願における重複授権放棄 (避免重复授权放弃) のことですが、次節で紹介します。

### 3. 特許と実用新案の同日出願

特許と実用新案の同日出願においては、実用新案を出願して登録となった後に特許が成立した場合、いずれかの権利を放棄する必要があります（通常は実用新案が放棄されています）。これが重複授権放棄です。

基本的な権利内容が同一（クレームの文言が同一というものではありませんが）の特許と実用新案の同日出願は、2018年～2019年の検証では公開特許に対する同日出願率は約15%でしたが、2021年～2022年では約10%と少なくなっているようです。同日出願の魅力（実用新案の方が権利行使しやすいなど）が損なわれてきたのでしょうか。

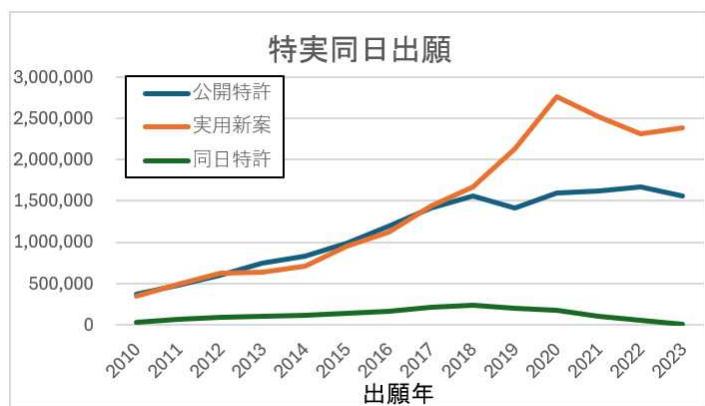


図7. 特許と実用新案の同日出願推移

2018年～2019年の検証では発行日基準で同日出願数をカウントしても1年ぐらいのタイムラグでその数が増えていることから同日出願数は通常の公開や登録情報の更新とは異なり、別途追加してデータベースが更新されているのではないか、ということを報告しました<sup>4)</sup>。現時点でも同日出願数の収録は1年ぐらいの収録タイムラグがあり、発行年基準でも最新のデータは積み上がり、変化しています。

実用新案の外国出願人の割合は全体の1%以下ですが（表2）、参考情報として表3に2020年～2023年の実用新案出願数小計が100件以上の外国出願人ランキングも示しました（特実同日出願ランキングではありません）。

出願人名の簡体字の英表記を下表に参考として示しました。外国出願人の割合が多い韓国出願人と日本出願人は色分けしてマークしました。また、中国にある現地法人の出願は割愛（not演算）しています。

例えば、意法半導体(ST MICROELECTRONICS)はIT, FR, SG, CH, PHなど多くの国の現地法人から中国に実用新案を出願していますが、中国の現地法人は含めていません。

表3. 外国出願人の実用新案ランキング (2020年～2023年出願推移)

外国出願人	2020	2021	2022	2023	小計	外国出願人	2020	2021	2022	2023	小計
1 三星显示	21	18	383	636	1058	18 施耐德电器	75	49	71	0	195
2 本田技研	126	257	261	187	831	19 昕诺飞控股	49	51	50	41	191
3 意法半导体	219	163	146	106	634	20 日本电产东测	64	59	49	10	182
4 村田制作所	195	245	109	22	571	21 大金工业	17	28	23	107	175
5 罗伯特·博世	97	123	112	90	422	22 三星电子	55	68	28	20	171
6 贝克顿·迪金森	112	95	81	114	402	23 西门子医疗	54	47	40	21	162
7 三星电机	86	92	105	94	377	24 克朗斯股份	49	47	35	27	158
8 BSH家用电器	56	85	95	104	340	25 LG电子	72	54	21	8	155
9 丰田自动车	103	82	87	36	308	26 松下知识产权	36	59	32	27	154
10 现代摩比斯	63	84	107	28	282	27 皇家飞利浦	34	50	50	15	149
11 瑞声科技	274	0	1	0	275	28 现代自动车	22	23	24	71	140
12 日本电产株式会社	62	97	95	6	260	29 舍弗勒技术	45	35	33	24	137
13 米沃奇电动工具	72	88	26	63	249	30 爱德华兹生命科学	15	55	46	13	129
14 卡特彼勒公司	14	63	115	36	228	31 东友精细化工	32	48	23	21	124
15 巴德阿克塞斯	28	78	60	50	216	32 创科无线	25	44	39	15	123
16 福特全球技术	79	26	76	33	214	33 康尔福盛303	1	38	47	34	120
17 LG新能源	3	38	142	21	204	34 VMI荷兰	37	25	37	19	118
						35 康普技术	67	18	21	4	110

三星显示(SAMSUNG DISPLAY) 本田技研(HONDA MOTOR) 意法半导体(ST MICROELECTRONICS) 村田制作所(MURATA MANUFACTURING) 罗伯特·博世(ROBERT BOSCH) 贝克顿·迪金森公司(BECKTON SHIKINSON) 三星电机(SAMSUNG ELECTRO-MECHANICS) BSH家用电器(BSH HAUSGERAETE) 丰田自动车(TOYOTA JIDOSHA) 现代摩比斯(HYUNDAI MOBIS) 瑞声科技(AAC TECHNOLOGIES) 日本电产株式会社(NIDEC CORPORATION) 米沃奇电动工具(MILWAUKEE ELECTRIC TOOL) 卡特彼勒(CATERPILLAR) 巴德阿克塞斯(BADE ACCESS SYSTEM) 福特全球技术(FORD GLOBAL TECHNOLOGIES) LG新能源(LG ENERGY)	施耐德电器(SCHNEIDER ELECTRIC) 昕诺飞控股(PHILIPS LIGHTING HOLDING) 日本电产东测(NIDEC TOSOK) 大金工业(DAIKIN INDUSTRIES) 三星电子(SAMSUNG ELECTRONICS) 西门子医疗(SIEMENS HEALTHCARE) 克朗斯股份(KRONES) LG电子(LG ELECTRONICS) 松下知识产权(PANASONIC INTELLECTUAL PROPERTY) 皇家飞利浦(KONINKLIJKE PHILIPS) 现代自动车(HYUNDAI MOTOR) 舍弗勒技术(SCHAEFFLER TECHNOLOGIES) 爱德华兹生命科学(EDDERHOLTZ LIFE SCIENCE) 东友精细化工(DONGWOO FINE-CHEM) 创科无线(INVASIVE DEPARTMENT WIRELESS) 康尔福盛303(CAREFUSION 303) VMI荷兰(VMI HOLLAND) 康普技术(COMMSCOPE TECHNOLOGIES)
---	---

どのような分野の出願が多いか、権利の維持状況はどうかも今後解析してみたいと思います。

#### 4. 参考文献

- 1) 中国特許の最新動向(2024/2/10)  
<https://patentsearch.punyu.jp/asia/CN202402.pdf>
- 2) 中国特許庁統計情報  
<https://www.cnipa.gov.cn/col/col61/index.html#mark>
- 3) 中国の非正常出願について(2021/9/15)  
[https://patentsearch.punyu.jp/asia/copy\\_patent.pdf](https://patentsearch.punyu.jp/asia/copy_patent.pdf)
- 4) 中国における特許・実用新案の同日出願  
[https://patentsearch.punyu.jp/asia/CN\\_D.pdf](https://patentsearch.punyu.jp/asia/CN_D.pdf)

以上